

広報めまた Numata 9

2020.9.24
Vol.643

来年に向けて「ヨイヤサー！」



▲ 8月27日（木）沼田小学校で夜高節披露

今月の主な内容

- ★ふるさと創造懇談会・・・2
- ★ふれあいインフォ・・・17
- ★まちレポ・・・・・・・・・・5
- ★生涯学習ゆめつくる・・・18
- ★あんどん披露・・・・・・・・10
- ★図書館から・・・・・・・・・・19
- ★沼田町防災情報・・・・・・・・12
- ★雪あそび・・・・・・・・・・14
- ★沼田警察庁舎から・・・・・・15
- ★沼田消防から(消報)・・・・16

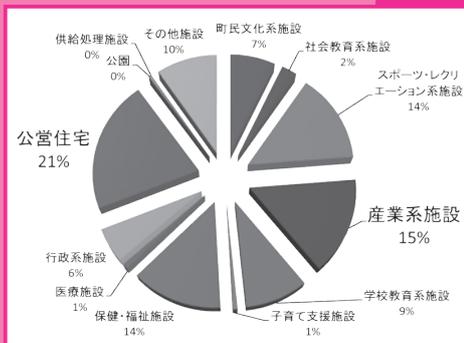
最新の沼田町新型コロナウイルス感染症に関する情報がご覧になれます。
スマートフォンをお持ちの方は、下記QRコードを読み取りください。



ふるさと創造懇談会

公共施設のありかた

○現在の公共施設の現状と課題



沼田町人口一人当たりの公共施設等保有量

昭和55年 総床面積 45,199㎡
(7.19㎡/人)

平成30年 総床面積 107,226㎡
(34.20㎡/人)

同一人口規模の団体と比べて、本町の公共施設延床面積は3倍を超える数字であり、非常に多くの施設を保有しています。

参考) 同一人口規模 (3,000人～4,000人) 10.6㎡/人)

○建築年度別整備状況

大規模改修の用途とされる建築後30年を超える施設の延床面積は40%を超えており、現在の施設をそのまま保有すると10年後には60%を超えます。

本町が所有する公共施設を今後とも同規模のまま所有し続けた場合、今後40年間で約453億円、年平均11億円の費用が発生いたします。

そのため将来を見据え、施設の縮減・統廃合・中心市街地への集約化等も視野に入れた適正な整備・維持管理が必要となります。

近年建築された大きな建物

- 平成4年 B&G海洋センター
- 平成8年 ほろしん温泉ほたる館
- 平成15年 養護老人ホーム和風園
- 平成24年 小学校
- 平成29年 暮らしの安心センター
- 町立沼田厚生クリニック

○今後の施設のあり方

ふるさと創造懇談会を8月19日(水)から町内各所で延べ5回行い、町からは5点を中心にご説明させていただきました。今回は当日ご説明させていただいた内容を掲載させていただきます。なお更に詳しい説明を聞きたい方は役場総務財政課までお問合せいただけますと、担当者にお繋ぎいたしますので、お気軽にお問合わせください。

子どもたちが誇りをもてるふるさとを残していくために

1. 公共施設全体の縮減を目指す！

施設によっては指定管理や譲渡も含めた管理体制を検討

2. 現在管理中の公共施設は今後も適切に維持管理・長寿命化を行い、耐用年数まで大切に使用する！

3. 公共施設を新たに整備する場合、統廃合も含め検討する！

4. 農村型コンパクトエコタウン構想の視点から、より中心市街地に施設の集約化を目指す！

5. 我が町の将来にしっかりとつなぐために「この町に一番必要なもの?」「この町に何を残すべきか?」という視点のもと、町民の意見を反映できるように努め、公共施設マネジメント(管理・運営)を目指す！

昨年より5つの視点で「施設のあり方プロジェクト」を役場内に設置し約130ある公共施設の中から優先して取り組まなければならない「14施設」について、今後の施設のあり方を検討いたしました。

【短期的に取り組む建物】

実施中 沼田中学校 校舎改修

(R2～R4)

第1優先 化石レプリカ工房(ふるさと資料館含む)

第2優先 町営スキー場リフト・ロッジ(レイアウト・補助金の有無)

第3優先 コンパクトエコタウン(高齢者住宅整備)

※基本設計・実施設計・建設

【中期的に取り組む建物】

町民体育館の改築

(学校併設型の検討)

ほろしん温泉 源氏の宿改築

(施設全体の長寿命化を含め継続検討)

【長期的に取り組む建物】
 高齢者施設の改築
 (建設地、規模を含め継続検討)

以上の考え方を柱として、今後
 町民からの意見等を反映しながら
 本町の将来をしっかりと見据えた整
 備計画とするよう進めてまいりま
 す。



高齢者住宅建設に 向けた検討内容

ご高齢になり、現在の住宅での
 生活に不安を感じた際の住み替え
 の選択肢としては、旭町に高齢者

住宅があるものの、和風園への入
 所が主な選択肢となっている状況
 であり、町民皆様への新たな選択
 肢として、ICTによる見守りや、
 既存の生活支援等の取組を合わせ
 持った機能を持つ新たな高齢者住
 宅を「暮らしの安心センター」南
 側の敷地に整備を検討しておりま
 す。

●建設戸数 10戸(1棟5戸)
 なお、建設後に入居のニーズが
 高い場合は、更に増築できるように
 建設スペースの確保。

●家賃
 家賃については、入居する方
 の負担を考え、高額になり過ぎな
 いよう検討していきます。

●間取り 1LDK
 ●環境・設備
 建設を行う住宅には、Wi-Fi
 i設備を基本機能として組み込む
 ことにより、時代の変化に合わせ、
 ICTの活用により、見守りから
 健康管理までを行うことを目指し
 て今後、高齢者住宅の基本設計と
 並行して内容の検討を進めて行き
 ます。

あつまる塾

「あるくらす」が活気のある場
 となることを目指して整備を行っ
 ていくため「あつまる塾」と銘打っ
 て、町民の皆様と一緒に農村型コ
 ンパクトエコタウン構想の一部で
 ある、高齢者住宅及び暮らしの安
 心センター周辺の外構整備につい
 て検討を進めて行きたいと考えて
 おりますので「あつまる塾」にご
 参加いただける方を募集いたしま
 す。

なお進め方といたしましては、
 基本設計が完了する令和3年3月
 (予定)までに数回、皆様からア
 イディアやご意見を頂くことを想
 定しております。

- ① 高齢者住宅について
 検討する内容
- ② 暮らしの安心センター周辺の外
 構整備について

JR留萌本線について

○JR北海道の基本方針
 (平成28年11月22日)

留萌本線は、利用が少ない線区
 であり、毎年の赤字が6億8千万
 円におよび、今後の施設の維持等
 にも今後20年間で30億円の経費が

掛かる事から、持続可能な交通体系
 とするために、バス等への転換につ
 いて、地域の皆様と相談を開始した
 いとJR北海道の意向が示されました。

○JR留萌本線沿線自治体会議

JR留萌本線沿線自治体会議は北海
 道運輸局等に要望書の提出など存続
 に向けた要望活動を展開してきまし
 た。

JR留萌本線問題の広域での 主な対応経過

- 平成30年5月 第1回会議
 留萌本線存続の可能性をさぐる。
 国及び道に要請行動を実施。
- 平成30年5月・6月
 2市2町首長が北海道運輸局、北
 海道へ要請行動。
- 2市2町首長が国土交通省鉄道局
 へ要請行動。
- 平成30年8月 第2回会議
 国交省による監督命令の対応につ
 いて協議。
- 平成30年9月 第3回会議
 北海道運輸局・北海道・JR北海道
 からの説明を受ける。
- 令和元年6月 第4回会議
 従前のとおり留萌本線の存続をさ
 ぐることを確認。
- 令和2年8月 第5回会議
 沼田町く留萌市間の廃線を容認。

○沼田町の考え方

○国・北海道・JRへの存続要請の継続。

○JR留萌本線輸送密度向上の為、利用促進策を実施し存続の道をさぐる。

利用促進策

(令和2年度実施及び予定事業)

- ① JR留萌本線応援事業「ペーパー・クラブ・コンテスト」
- ② JRに乗り続け隊の募集
- ③ JR石狩沼田駅舎の活用



自然学校の取組みについて

○まると自然体験プロジェクト

目指すのは…

- ・幌新の森と町全体の価値の向上
- ・町民の自慢の場所・郷土愛
- ・語り部づくり(町民ガイド)
- ・沼田町ならではの資源
- ・日本一のまちづくり

○町内には魅力的な資源がある

様々な分野で活躍する専門家を招き、町民と交流しながら新しい学びや活動をする場をつくっていきます。

活動を広げ、沼田町ならではの地域ブランドを発信していきま

す。コーデイネート組織として自然学校を設立します。



町長から3つのお願い

①加工用トマトの栽培

「日本一加工用トマト生産地を目指す」

②高齢者就労支援事業所の登録

(旧シルバー人材センター)

「人生100年時代を目指して」

③商品開発への挑戦

主な質疑応答内容

体育館について

Q 町民体育館と中学校の体育館の2つはどうするのか？

A 町民体育館と中学校の体育館の2つとも古い。2つの施設を建てると2重の経費がかかるので、併用できないか検討をしている。一つの建物に2面のコートが出来ないかも検討している。

高齢者住宅について

Q 1LDKでベッドが2つ入るとの説明であったが、ベッドは介護用ベッドの大きさを想定したものでか？

A 介護用ベッドを想定している。

Q 介護状態でなく元気なうちから住むことができるのか？

A 長く住めるように考えている。

JR留萌本線について

Q 高校生はほとんどJRで通っている。年配の方も利用している。沼

田く深川間は全力を上げて存続させてほしい。

A 何としても通学通院の方の足を確保するため、私自身周りの首長と存続に向けて頑張りたい。

Q JR留萌本線は大丈夫なのか？

A 正式協議はこれからである。今回の合意で一步譲歩して可能かどうか存続に向けて頑張っていきたい。

Q ラジオでJR留萌本線が廃止だと放送していた。これからは条件闘争だと思ふ。町で腹案はあるのか？町で単独交渉しないのか？町で単独条件を出せば良い。

A 腹案は無い。JR北海道との正式協議はこれからである。ほかの自治体の協力が無ければ存続活動ができない。これから沼田く深川間の存続に向けた折衝協議になる。

自然学校について

Q 自然学校は他からも人と呼ばれるのか？

A 道内の自然学校の方々が人々を呼んでくれている。しかし今は新型コロナウイルスの関係で昨年の参加者に声掛けをして実施している。

7/28 JA北いぶき女性部沼田支部から ペーパータオルなどを子どもたちにプレゼント

7月28日（火）JA北いぶき女性部沼田支部（岡田久恵支部長）から小学校に200枚入りのペーパータオルを90パック、中学校に給食配膳用使い捨て手袋100枚入り10箱、認定こども園にペーパータオル40枚入り2箱のプレゼントをいただきました。

この日町長室を訪れた岡田支部長と畑地理事は「部員からコロナウイルスで困っている子どもたちに何かしたいという声が多く上がり、様々なことを我慢している子どもたちの役に立てればと思いました」と話し、受け取った横山町長は「子どもたちが安心して学習できると思います。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。



7/30 社協に赤い羽根共同募金の車両

沼田町社会福祉協議会（松田剛会長）に赤い羽根共同募金の車両が7月30日（木）納車されました。

これまで使用していた車両は20万キロ程走行しており、自動ドアにも支障があったため、この度北海道共同募金会が行っている地域福祉推進事業の助成を受け、新しく車両を導入しました。

車両は8人乗りで今後老人の研修先への移動や町内の配食サービス事業などで使用する予定です。



8/1 熱い夏の涼しいひと時 ゆきものがかり主催の「麦酒の祭」

8月1日（土）まちなかほっとタウン駐車場にて町内の有志で組織する、ゆきものがかり（藤村健一会長）主催の「麦酒の祭」が開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響によりビールパーティーや夜高あんどん祭りが中止となったため、同団体は町を元気にしたいと本イベントを企画しました。

新型コロナウイルス感染症防止対策として来場者数を制限し、入場時に検温とフェイスシールド、ソーシャルディスタンスを保持するための日傘が配布されました。

藤村会長は「コロナ禍で自粛ムードが高まり、何もしないことが良いという風潮だが、それでは町内の経済が回らない。今回のイベントが沼田町を元気にするためのきっかけとなればうれしい」と話していました。



8 / 高校受験に向けて 3-7 木次協力隊員が講師「夏季講習」開催

地域おこし協力隊員で元塾講師の木次大介さんが中学3年生の希望者を対象に英語と数学の夏季講習を8月3日（月）から7日（金）までの5日間行いました。

木次さんは大学卒業後13年間、大手学習塾の講師として全国各地で指導した経験があります。

講習会は連日1時間半開かれ、入試問題を解く演習では「わからない問題はあとにして、なるべく多くの答えを書けるようにする」など点数を上げることに重点を置いた実践的な講習となりました。



8 / 良いトマトが収穫できました 7 今年の加工用トマト入荷

特産品のトマトジュースやトマトケチャップの原料である加工用トマトの受け入れが8月7日（金）始まり、古田努さん（仲町西）が初入荷として約456kgの真っ赤なトマトを持ち込みました。

古田さんは「今年は雨が少なかったので腐れが少なく良いトマトが収穫できた」と話し、横山町長は「毎年の収穫ありがとうございます。良い商品になると思っています」と感謝を述べました。

今年の加工用トマトは29件の農業者で生産され、310トンの入荷を予定しています。



8 / 子どもも大人も一緒に楽しみました 8 第46回町民いこいの広場

毎年恒例の町民いこいの広場（商工会青年部主催）が8月8日（土）行われました。当初7日（金）開催の予定でしたが、悪天候のため延期しての開催となりました。

新型コロナウイルス感染症防止対策として、受付で検温や手指消毒などがしっかりと行われていました。

また子どもたちを元気づけたいという趣旨で子ども盆踊りの後、手持ち花火大会や中学校グラウンドから打ち上げる花火大会などが行われ、子どもと保護者が一緒になって楽しめるイベントとなりました。



8 / 沼田町の有害鳥獣駆除を指導 27 原田勝男氏に感謝状を贈呈

沼田町の有害鳥獣従事者に、くくり罠などの指導をいただき、有害鳥獣従事者の育成及び被害防止に貢献いただいているNPO法人ファームサポート北海道の理事である原田勝男氏に横山町長から感謝状を贈呈しました。

贈呈式で横山町長は「原田さんの指導のおかげで沼田町の有害鳥獣被害が減っており、農作物被害も低減している。まだまだ指導いただくことが多くあると思うので、今後ともよろしくお願ひしたい」と感謝の言葉を述べました。

また沼田町有害鳥獣対策委員会（辻則行会長）からも感謝状が贈呈されました。



8 / 自然の中で遊んで、学んで 29 自然体験プロジェクト「森のようちえん」

8月29日（土）沼田町まるごと自然体験プロジェクトの一環として就学前のお子さんのいる親子を対象にほたる学習館の横で「森のようちえん」が開催されました。雨が降っていましたが子どもたちはアスレチックネットやスラックラインで遊んだり、森の中で散歩をしながら昆虫採集をしたり、落ちていた笹の茎を拾って焚火の燃料にしてマシュマロを焼いて食べたりと、雨の中でも元気に活動していました。



8 / みんなで一緒に考えましょう 29 町民とつながる議会の集い

沼田町議会がこれまでの議会運営に留まることなく、住民参加のまちづくりと議会の役割について広く理解して頂くことを目的に8月29日（土）「町民とつながる議会の集い」が開催されました。

始めに沼田町議会サポーターとして土山希美枝氏（龍谷大学政策学部教授）、西科純氏（議会技術研究会共同代表）また議会モニターとして町民10名が委嘱されました。

その後、土山氏と西科氏から議会の役割についてや議会改革についての講演があり、グループワークではどんな議会だったら良いかという意見を活発に出し合い、町民が議会とのつながる場となりました。



9 / 9 4 もしもの時の「がん」のために 暮らしの保健室講演会が行われました

暮らしの保健室講演会が9月4日（金）ふれあいで行われました。

東京海上日動あんしん生命保険(株)の浦上大輔氏を講師に招き「もしものときの『がん』のはなし」と題した講演は、がんの罹患者数の推移や、もしがんになった時の治療費用などをわかりやすい説明で、会場にいた約20名の町民はスクリーンを見ながら深くうなずいていました。



9 / 9 9 楽しい一日になりました 旭寿園ふれあい祭り

9月9日（水）特別養護老人ホーム旭寿園でふれあい祭りが行われました。例年のご家族や知人をお迎えして開催していますが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため入園者と職員で祭りを楽しみました。

祭りでは約2か月かけて入園者と職員が作った吊りあんどんの展示や職員による夜高太鼓の披露、フィナーレでは職員等による「旭寿園音楽隊」の演奏があり、アンコールの「上を向いて歩こう」では横山町長が飛び入り参加。感動して涙する入園者が出るなど大いに盛り上がりました。



9 / 10 ICTを使って健康に 高齢者の見守り事業などに関する連携協定締結

沼田町と奈良県立医科大学MBT研究所、MBTリンク株式会社は9月10日（木）ICTを使った高齢者の見守り事業などに関する連携協定を結びました。

高齢者の健康状態を専用の機器類でデータとして把握し、健康データをもとに健康指導が行え、遠方の家族とデータを共有することで見守りをサポートすることができます。

横山町長は「高齢者やご家族が安心できる環境づくりにつなげていきたい」と述べました。



感謝 深川地方法人会からアルコール消毒液の寄贈

8月31日（月）深川地方法人会から小中学校で新型コロナウイルス感染症拡大予防に役立ててほしいとアルコール消毒液18リットルの寄贈を受けました。

横山町長は「子供たちは不安な日々を過ごしている。今日こうして子供たちのために寄贈いただきありがたい。学びの場に使用させていただきたい。」と贈呈に訪れた廣野辰也沼田支部長に感謝を述べました。



感謝 北空知信金からマスクケースの寄贈

北空知信用金庫（廣上光義理事長）が創立70周年を迎え、その記念事業の一環として新型コロナウイルス感染症拡大防止に使っていただきたいと、この度「抗菌マスクケース」600枚の寄贈を受けました。

9月3日（木）役場に訪れた廣上理事長は「子供たちが給食の時間などマスクを外す時に使用してほしい。コロナ渦の中、子供たちに安心な環境を届けたい」とマスクケースを手渡しました。

今回寄贈を受けた抗菌マスクケースは、小学校と中学校の児童生徒に配られる予定です。



感謝 岩寺木材産業(株)から町へ寄附

9月7日（月）木材販売やガソリンスタンド、不動産などの事業を展開している岩寺木材産業株式会社（代表取締役岩城智則）から会社設立70年目を迎えるにあたり、町に70万円の寄附がありました。

岩城社長は「今まで沼田町にお世話になった。コロナ対策と商工業振興に役立ててほしい」と話し、横山町長は「貴重な寄附をいただき感謝します。商工業の発展はもちろん、町民の安心安全な生活にも使わせていただきたい」と感謝を述べました。



今年も熱い心と暑い夏！

繋げるあんどん魂！



9/4 沼田中学校文化祭の様子

新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら今年の夜高あんどん祭りは中止となりましたが、来年への思いとスタートの意味を込めて、各種夜高あんどんイベントが行われました。

小学校や中学校では、子どもたちに文化の伝承や今年作成したあんどんを披露させたいという気持ちのもと「夜高節」や「はね踊り」、太鼓演奏が披露されました。

沼田夜高太鼓のメンバーは市街地で太鼓演奏をして回り、沿道では町民が声援を送り、フィナーレでは新型コロナウイルスが終息への願いを込めて花火が打ちあがりました。

8/27

沼田小学校で夜高節披露



8/29
市街地で沼田夜高太鼓演奏



9/4
沼田中学校文化祭



9/9
旭寿園ふれあい祭り



あんどん幟やあんどん等が町中を彩りました!



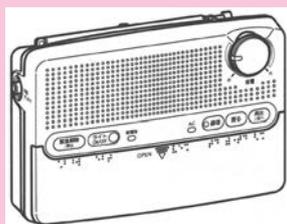
沼田町防災情報

いつ起こるかわからない自然災害に対して沼田町が行っている取り組みや、大雨・暴風による気象警報や災害時の避難指示などの防災情報の伝達方法などを紹介します。

防災情報の伝達方法

防災行政無線

町内6か所に設置してある屋外スピーカー及び全戸に配布している戸別受信機から一斉に放送されます。



沼田町ホームページ

災害時はトップページ上で最新の情報を掲載します。

また、トップページ上の「最新の防災無線」ページでは、直近の「防災ぬまた」で放送した内容を掲載しています。



メールぬまた

事前に登録することで、お持ちの携帯電話・スマートフォン等の電子メールにより情報を受信でき、町外にいる際なども非常災害やその他緊急事態の情報を得ることができます。登録がお済でない方はぜひご登録ください。

緊急速報メール

町が配信する避難指示などの避難情報や、気象庁が配信する大雨特別警報などが、災害発生の恐れがあるエリア内の携帯電話に一斉配信されます。

沼田町が発信する情報以外の災害情報収集方法

各種気象情報や地震・津波などの緊急情報、防災・災害に関する情報を知ることができるWEBサイトやスマートフォンのアプリなどがあります。

主なWEBサイト

●気象庁

気象情報・天気予報・雨雲の動きなどの情報が掲載されています。



●川の防災情報（国土交通省）

河川の水位情報や、河川カメラの映像を見ることができます。



防災のしおり

日頃からの備えや避難の方法、洪水の際の浸水想定区域図（ハザードマップ）を掲載した「防災のしおり」を全世帯に配布しています。

いざという時に備えて内容を確認し、見える場所などに保管しておきましょう。

なお、11月中旬を目途に新たな「防災のしおり」を全戸に配布する予定です。



備蓄品や設備等の紹介

●非常用発電機

令和元年度からふれあい・ゆめつくる・暮らしの安心センター・和風園・旭寿園に配置してあります。その他、各活性化センター・コミュニティセンターには外部電源に接続する小型発電機が配置してあります。



●防災備蓄品

ハンマーや土のうなどの作業用資機材、アルファ米や缶パン、飲料水などの非常食、簡易トイレや段ボールベッドなどを備蓄し、順次、感染症対策用のパーティション等の準備も進めています。



●トイレトレーラー

令和元年度、災害派遣ネットワークプロジェクト「みんな元気になるトイレ」に参加し、導入しました。

トレーラーには、きれいな洋式の水洗便所の個室が四つ備っており、防音性などのプライバシー面にも優れ、長期間衛生状態を維持できる仕様になっています。



●避難所（発生する災害により避難所は変更となることがあります。）

対象地区	施設名	電話番号
市内1東、市内1北、市内1南、旭町西、旭町東、高穂1	健康福祉総合センター（ふれあい）	35-2120
市内2、市内3、南町、仲町東、沼田1	生涯学習総合センター（ゆめつくる）	35-2132
市内4、市内5、市内6、市内7、緑ヶ丘	沼田小学校	35-2842
仲町西、西町、沼田3、沼田4、北竜3	沼田中学校	35-2850
中央	中央地区コミュニティセンター	
高穂2	高穂地区コミュニティセンター	35-1774
共成	共成地区コミュニティセンター	35-1775
東予	東予地区コミュニティセンター	35-3273
	共成地区活性化センター（水害時）	35-1027
更新	更新会館	
北竜1、北竜2	北竜地区活性化センター	35-1020
恵比島、幌比里	恵比島地区活性化センター	35-1021

■お問合せ 総務財政課 総務グループ ☎35-2111

夏の沼田町で

雪あそび！



新型コロナウイルス感染症の影響で各イベントが中止となり、気持ちが沈んでいる子どもたちに元気になってもらおうと町内に雪が配られ、子どもたちが元気に遊びました。

7/28 沼田小学校



▲暑い夏に涼しさを感じながら、楽しく遊びました。



▲小学校の教室では雪冷房として活用。

7/28 沼田認定こども園



▲夜高あんどん祭りが中止となり、沈んでいた気持ちも雪遊びで吹き飛びました。

8/4 緑ヶ丘町内会



▲穴を掘ってジュース等を冷やしたり、子どもたちの遊び場になっていました。

雪氷桜が商店を彩り！

沼田町で保存している「雪氷桜」を町民の方にも見てもらおうと沼田町利雪研究会（西尾昌浩会長）が、8月26日（水）町内の商店や飲食店に雪氷桜を配布しました。

この日用意した桜は約140本で夜高あんどん祭りが無いこの夏の明るい話題となりました。



▲「桜を見ながらお酒を楽しむのも良いですね」と春木商店（旭町西）の栗中真知子さん。



安全安心なまちづくりの日及び全国地域安全運動の実施 みんなで築こう、安全で安心な大地

1. 安全安心なまちづくりの日

10月11日(日)

2. 運動期間

10月11日(日)～20日(火)

3. 運動重点(全国統一)

子供と女性の犯罪被害防止

特殊詐欺の被害防止

4. 広報ポイント

ア 安全安心なまちづくりの日

・10月11日は安全安心なまちづくりの日です。

・人と人の絆を強めるとともに、防犯意識を高め、犯罪のない安心して暮らせる北海道を目指しましょう。

イ 子供の犯罪被害防止

・「いかのおすし」の防犯標語による防犯指導や、登下校の見守り活動を行いましょう。

・ウォーキング、ジョギング、買い物、犬の散歩等の日常活動の中でできる「ながら見守り」にご協力ください。

・防犯ブザーや防犯ホイッスルなどの防犯グッズを持たせましょう。

ウ 女性の犯罪被害防止

・夜間は、できるだけ明るい道を歩くようにしましょう。

・イヤホンで音楽を聴いたり、スマートフォンを操作しながらなどの「ながら歩き」は周囲の状況がわかりにくくなるので注意しましょう。

・防犯ブザーなどの防犯グッズを携帯しましょう。

エ 特殊詐欺の被害防止

・普段から家族間で連絡を取り合い、詐欺の話をしてお互いに関心を持ちましょう。

・「自分だけは大丈夫」と思っている人ほど危険です。「自分もだまされるかもしれない」という心構えをして詐欺の電話などがあった場合に落ち着いて対応しましょう。



犯罪の発生状況 (令和2年8月31日現在)

町内における犯罪件数

	空き巣	金庫 破り	忍び 込み	万引き	倉庫 荒らし	自動車・ バイク盗	自転車盗	置き引き	車上 ねらい	器物損壊	暴行 傷害	公然 わいせつ	合計
令和2年					1					1		1	3
令和元年			2				1	1			1		5

交通事故の発生状況 (令和2年8月31日現在)

町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
令和2年	0	令和2年	24
令和元年	0	令和元年	34

町民が町外で第1当事者と

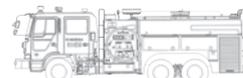
なった人身事故件数

令和2年	0
令和元年	0



消 報

深川地区消防組合深川消防署
沼田支署予防担当 ☎ 35-2050

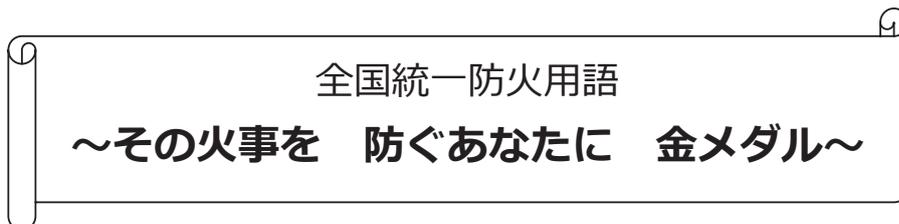


秋の火災予防運動が始まります

10月15日から31日までの期間、全道秋の火災予防運動が始まります。暖房機器の使用等により火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、町民一人ひとりが防火意識を高め、火災の発生を未然に防ぐことを目的に実施します。

沼田消防では期間中、次の行事を実施しますので、町民皆さまのご協力をお願いします。

- ①夜9時にサイレンの吹鳴
- ②全町防火パレード
- ③防火査察
- ④消防団出動訓練
- ⑤夜間車両巡回



秋のスズメバチに要注意！

9月から10月にかけてスズメバチの活動が活発になり、数も増えもっとも危険な時期になります。毎年、全国各地で刺傷事故が報告されており、過去に刺されたことのある人やアレルギー体質の人は、まれに過剰なアレルギー反応（アナフィラキシーショック）により死亡することもあるため注意が必要です。

注意点

- ・巣を見つけたら、刺激しない、大きな音を出さない、ゆっくりとその場から離れる。
- ・蜂に遭遇した場合、姿勢を低くして静かに後ずさりしてその場を立ち去る。
- ・一度刺された人は2度目に注意。（アナフィラキシーショック）

応急手当

- ①刺された傷口を大量の流水でとにかく洗い流す。
(大量の流水で洗い流すことで水溶性の毒が薄くなる効果と冷やす効果があります。)
- ②爪などで傷口周辺を圧迫し毒液を絞り出す。
注) 口で傷口周辺を吸うと、ハチ毒が口腔粘膜から吸収されるので口で傷口を吸うのはやめましょう。
- ③氷のうや濡れたタオル等で冷やし、安静にする。
(冷やすことで腫れや痒みの緩和につながります。)



※応急手当を行って症状が軽減されても病院（皮膚科）を受診しましょう。また、全身にじんましん、息苦しき、吐き気、むくみなどの症状が出た場合には救急車を呼びましょう。

大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

沼田町
防火標語

『声かけよう みんなで確認 防火の輪』



第2次沼田町健康増進計画

令和2年3月に第2次沼田町健康増進計画を策定しました。この計画は、今後10年間の沼田町の健康づくりの方向性をまとめているものです。

ここでは、健康増進計画の概要を紹介しますので、ぜひ健康づくりに役立ててください。



○基本方針

沼田町民一人ひとりが主人公の健康づくりと健康寿命の延伸

○生活習慣病予防と重症化予防の徹底 ○健康を支え、守るための社会環境の整備

○分野別の具体的な取り組み

栄養・食生活		<ul style="list-style-type: none"> ・1日3食を基本とし、バランスの良い食事を摂取しよう。 ・食生活を見直して、低栄養を予防しよう。
目標	朝食欠食者 7% (H30 8.9%)	
身体活動・運動		<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしく運動を楽しもう。 ・運動習慣を身につけ、運動やスポーツを続けよう。
目標	運動習慣がない人 65% (H30 71.1%)	
こころの健康と休養		<ul style="list-style-type: none"> ・誰も自殺に追い込まれることのない社会を作ろう。
目標	睡眠で休養が取れる人 85% (H30 78.4%)	
飲酒		<ul style="list-style-type: none"> ・適正飲酒や休肝日を心がけよう。
目標	適正飲酒の人 60% (H30 46.1%)	
喫煙		<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦の喫煙をゼロにしよう。 ・子どもや非喫煙者の受動喫煙をなくそう。 ・禁煙したい人を応援しよう。
目標	育児者の喫煙率 父 20% 母 4% (H30 父 42.1% 母 12.1%)	
歯・口腔		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもころからかかりつけの歯科を持とう。 ・定期的に歯科健診の機会を持とう。
目標	幼児一人当たりの虫歯 0本 (H30 1.66本)	

この計画は、沼田町のホームページに掲載されていますのでご確認ください。
日々の生活を見直し、健康づくりに取り組みましょう。

第1回沼田学園学校運営協議会開催 全町で《あいさつ運動》に取り組みましょう

新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせていた第1回沼田学園学校運営協議会が8月3日（月）に開催されました。新しく任命された委員の皆様を加え新役員と今年度の活動方針、内容を確認しました。

○新役員

委員長 岡本佳彦氏
副委員長 藤村健一氏



○《あいさつ運動》の取組

学校・家庭・地域それぞれがあいさつ運動に取り組むことを再確認しました。《あいさつ》から《コミュニケーション力》を高める活動をそれぞれの立場で取り組んでいきます。

	委員	組織団体		委員	組織団体
再	岡本佳彦	認定こども園副園長	新	藤木久美	町民代表
新	藤村健一	中学校PTA	新	中村剛	認定こども園PTA
再	日暮茂男	学識経験者	新	川嶋敬	小学校PTA
新	宮脇英樹	自治振興協議会 会長	新	大山勇太	家庭地域部会
再	松田剛	社会福祉協議会 会長	新	沼田佳子	小学校教諭
再	青木美弥子	町民代表	再	佐藤望美	中学校教諭

沼田っ子の学びの保障を目指して

学習サポート「明日萌」は、平日の月曜日と長期休業中に実施しています。平日では、図書館司書の読み聞かせ、ALTの「英語で話そう」の新企画もスタートしています。また今年度は、夏休みが短くなりましたが、8月3日から6日間夏休み中に明日萌を開催し、小学生のべ158名、中学生のべ16名が参加しました。

さらに今年度から中3対象の入試対策夏期講習会を開催し、学力の向上を目指しています。学校の授業・家庭学習を中心としながらも、様々な機会を通じて沼田っ子の学びの保障を充実させていきます。



学校・家庭・地域総がかりで子ども達の成長を支えていきましょう！！

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>



『月の本』



9月も下旬になり、すっかり秋らしくなってきました。

もう少しで中秋の名月です。本来の中秋の名月は、秋の七草とすすき、団子、芋などの丸いものを供えて豊穰を祈る行事ですが、今は団子などをお供えしてお月見をする日というイメージが強いかもしれません。

そこで今月は中秋の名月にちなんで、月の本を紹介します。

まず紹介するのは『月の本』。月の写真、世界の月の伝説・神話、月面固有名詞など様々な情報が載っている一冊です。月について幅広く知りたいという方におすすめです。

次に紹介するのは『これから見られる日食と月食データブック』です。2050年までのデータが載っていて、日食・月食がある年と地域によってどの程度見ることができるのかわかります。次の月食がいつか知りたい方はぜひ手にとってみてください。紹介した本のほかにも月のことが載っている本はありますので、図書館に来館した際ぜひご覧になってください。

新刊図書

«一般書»

気がつけば、終着駅	佐藤 愛子
君がいないと小説は書けない	白石 一文
怖い間取り2	松原 タニシ
死という最後の未来	石原 慎太郎
アフターコロナ	日経クロステック
ホームレス消滅	村田 らむ
空気を読みすぎる子どもたち	古荘 純一
よかれと思ってやったのに	清田 隆之

«児童書»

めしあがれ	高原 美和
パンめしあがれ	高原 美和
くすのきだんちのあきまつり	末崎 茂樹
ばすくのおむかえ	なかや みわ
ふたごのたこたこウィンナー	西村 敏雄

新刊図書おすすめ!!

『破局』

遠野 遥



私を阻むものは、私自身にほかならない。ふたりの女を歩き来するいびつなキャンパスライフ。第163回芥川賞受賞作。

『なぜ僕らは働くのか』 池上 彰



仕事、お金、働きがい、AIの進歩、多様性の尊重、人生100年時代…。働くうえで考えるべき様々なテーマをマンガと図解で多角的に伝えます。

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できます。検索は、下記のURLかQRコードからどうぞ。

http://opac-numata.lib-wa.net/web_opac/simple_search.php



表彰 宮脇敏一さんに紺綬褒章を伝達

宮脇敏一氏（北竜2）に紺綬褒章が横山町長から8月12日（水）伝達されました。

宮脇さんは昨年、町に多額の寄附をされ今回の受章となりました。

伝達式で横山町長は「昨年の多額の寄附に感謝いたします。引き続き沼田農業を見守ってください」と感謝し、宮脇さんは「このような立派な褒章をいただきありがとうございます」と話されました。



「夜高あんどん祭りカウントダウンカレンダー」を作成しました

来年の夜高あんどん祭りに向けて町民の皆様の気運を高めていただけるよう「夜高あんどん祭りカウントダウンカレンダー」を作成しました。役場・商工会・まちなかほっとタウン・暮らしの安心センター・北空知信用金庫沼田支店に配置しておりますので、ご自由にお持ち帰りください。

■お問合せ 沼田町観光協会 ☎34-6373



定住支援員

渡邊 夏穂さん

千葉県大多喜町出身の渡邊さんは住民生活課で定住支援員として業務を行っています。趣味は旅行とスキューバダイビングをすることです。



地域おこし協力隊

小出 洋樹さん

スキューバダイビングが趣味の小出さんは新潟県五泉市の出身。9月1日（火）から「まちなかほっとタウン」に勤務し、観光やビジネス支援業務を行っています。



人の動き

(令和2年8月31日現在)

人口 2,998人 (前月比 △13人)
 男性 1,423人 (前月比 △5人)
 女性 1,575人 (前月比 △8人)
 世帯数 1,478世帯 (前月比 △9世帯)

■総人口増減内訳

増加) 転入: 2人 出生: 0人
 減少) 転出: 12人 死亡: 3人

交通事故死ゼロ

(令和2年8月31日現在)

2,975日継続中!!

土田 出生児 うぶごえ
 小夏ちゃん 誕生月日 両親の名前
 7月22日 翔平さん・梢さん

氏名	おくやみ	死亡月日	年齢	住所
山本 文子 さん(女)	おくやみ	8月9日	72歳	沼田3
森谷 又子 さん(女)	おくやみ	8月31日	97歳	旭寿園
井上 絵理 さん(女)	おくやみ	9月9日	41歳	市内1東